

中央環境審議会地球環境部会 カーボンプライシングの活用に関する小委員会について

環境省地球環境局
2019年年1月

- パリ協定やSDGsを踏まえ、第5次環境基本計画においては、持続可能な社会の構築を目指していくためには、経済社会システム、ライフスタイル、技術といったあらゆる観点からのイノベーションの創出や気候変動問題と経済・社会的課題の同時解決を実現しつつ、国内の地域から世界に至るまで多面的・多層的に政策を展開することが求められている。
- こうした状況を受け、**あらゆる主体に対して、脱炭素社会に向けた資金を含むあらゆる資源の戦略的な配分を促し、新たな経済成長につなげていくドライバーとしてのカーボンプライシングの可能性**について審議を行うため、中央環境審議会地球環境部会に「カーボンプライシングの活用に関する小委員会」が設置された。

<委員>

(◎：委員長、○：委員長代理)

- | | | | |
|---------|---|---------|---|
| ◎ 浅野 直人 | 福岡大学名誉教授 | 小西 雅子 | WWF ジャパン自然保護室次長 |
| 有村 俊秀 | 早稲田大学政治経済学術院教授
同環境経済経営研究所所長 | ○ 神野 直彦 | 昭和女子大学グローバルビジネス学部特命教授 |
| 石田 建一 | 日本気候リーダーズパートナーシップ共同代表 | 高村 ゆかり | 日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授
東京大学国際高等研究所
サステナビリティ学連携研究機構教授 |
| 岩田 一政 | (公社)日本経済研究センター理事長 | 手塚 宏之 | (一社)日本鉄鋼連盟エネルギー技術委員長 |
| 牛島 慶一 | EY Japan CCaSSリーダー
気候変動・サステナビリティサービス(CC a S S)
プリンシパル | 土居 丈朗 | 慶應義塾大学経済学部教授 |
| 遠藤 典子 | 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科
特任教授 | 根本 勝則 | (一社)日本経済団体連合会専務理事 |
| 大塚 直 | 早稲田大学法学部教授 | 廣江 謙 | 電気事業連合会副会長 |
| 大野 輝之 | (公財)自然エネルギー財団常務理事 | 前田 章 | 東京大学大学院総合文化研究科教授 |
| 大橋 弘 | 東京大学大学院経済学研究科教授 | 増井 利彦 | 国立環境研究所社会環境システム
研究センター統合環境経済研究室長 |
| 河口 真理子 | (株)大和総研調査本部主席研究員 | 森澤 充世 | C D P 事務局ジャパンディレクター
P R I 事務局ジャパンヘッド |
| 神津 信一 | 日本税理士連合会会長 | 諸富 徹 | 京都大学大学院経済学研究科教授 |
| | | 安田 洋祐 | 大阪大学大学院経済学研究科准教授 |
| | | 吉村 政穂 | 一橋大学大学院法学研究科教授 |

第1回：2018年7月30日（月）

・脱炭素社会に向けた動向

第2回：2018年8月27日（月）

・第1回の議論のまとめ／カーボンプライシングの意義・効果および課題等（諸外国のカーボンプライシングの導入背景、CO2削減効果、経済との関係）／脱炭素社会に向けた動向

懇談会：2018年10月16日（火）

・有識者からのヒアリング（CDPのニコレット・バートレット氏）

第3回：2018年10月25日（木）

・これまでの議論のまとめ／カーボンプライシングの意義・効果および課題等（炭素リーケージ、逆進性）／これまでの御指摘事項について／日中韓カーボンプライシング・メカニズム・フォーラム

第4回：2018年11月22日（木）

・これまでの議論のまとめ／カーボンプライシングの意義・効果および課題等（暗示的炭素価格、日本経済の状況・課題とカーボンプライシングの関係について）／これまでの御指摘事項について

第5回：2018年12月27日（木）

・これまでの議論／カーボンプライシングの意義・効果および課題等（日本経済の状況・課題とカーボンプライシングの関係について）／これまでの御指摘事項について／COP24の結果について